

ことばの発達に課題のある子の理解と支援 ②

ご家庭での支援（対応や配慮）について、いくつか紹介します。

規則正しい生活

私たちの生活には、実は「一連の流れの中に、決まったことばによる指示が入って、一連の行動の中にゴールがある」という活動がたくさんあります。例えば、着替えや食事、お風呂に入る、お散歩に行く等です。そこでは、交わされる会話は大体決まっていることが多いものです。ファーストフード店でハンバーガーを注文するときのことを思い出してみてください。

大人がいつも決まったように、いつも決まったことばかけをしていくことで、子どもはそのやり取りに対して見通しをもつことができるようになり、会話がしやすくなります。そして行動もしやすくなるのです。

つまり、毎日の生活が規則正しいこと、家庭の中で決まったやり方ややり取りがあることが大事なのです。

ことばあそび

しりとりやなぞなぞなどのことばあそびを楽しみましょう。

しりとりは、ことばの始めの音と終わりの音が分からなければできません。その音を意識しながら、身の回りにあることばをたくさん出して言ってあげましょう。

なぞなぞには、3ヒントクイズなど、実はいくつかの出題パターンがあります。お子さんと楽しむには、どんななぞなぞがいいのか、そこから考えてみるといいでしょう。

お手伝い

お子さんと一緒に、洗濯物をたたんだりお料理をしたりしましょう。

洗濯物は、タオルなどを、指先で角と角をつまんで合わせて折りたたむことから始めるといいでしょう。これは指先の巧みさを高めるのにも効果的です。

お料理は、野菜を洗う・ちぎる、餃子やハンバーグのネタをこねる・混ぜる、お皿に盛り付けるなどいかがでしょう。

お手伝いは、おうちの人から褒められるということも、お勧めしたい理由の一つです。

読み聞かせ

絵本や童話などの読み聞かせもお勧めします。

字面通りに読まなくても、途中でお子さんの興味のある事柄に立ち止まりながら読むのもいいでしょう。お父さんの声で読んでもらうのも楽しいです。

同じ本を何度も読んで欲しい時期もあることでしょう。暗記するくらい好きなお話ができるのもすてきなことです。

読み終わったら、感想を求めるよりも、保護者の方がどう思ったかを話してあげる方が共感できる場合も多くあります。

それから、一緒に図書館に行くこともお勧めです。

